

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和3年2月26日

事業所名: なかよし園

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			コロナ禍の折、人数が多いときは園外活動を取り入れたりして、分散出来るようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準よりも、多めの職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関等はスロープがあるが、すべてのバリアフリー化は行っていない。現時点では、必要とする子どもがいない。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に会議を持ち、職員の共通理解に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員間で会議を持ち、業務改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			各種研修会への参加を行い、研鑽している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間で、得た情報は共有できるように、記録を取っている。口頭でも伝えあう。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント表を作成し、記録している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員と細かい部分まで話し合い、行っている。また、毎週、事前にミーティングを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月、日々の計画を立てて構成員のモチベーションを高め、社会的なスキルを身につける機会を確保できるように設定している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎回、療育案(活動内容)を立て、個々に合わせて行っている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回、活動前にミーティングを行い、打ち合わせをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			専門療法士によるSST終了後はカンファレンスを行い、個々の子どもの様子について情報を共有している。その他、その日の活動について反省を行うようになっている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回、日誌や活動の記録写真を撮って、次回、保護者が閲覧できるようにしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者送迎の時に、子どもの変化や保護者の意向を確認し、計画の見直しにつなげている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			様々な活動を組み合わせている。反省を活かして、園内研修や職員会の中で支援について工夫するようにしている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者を中心に参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者送迎のため、送迎時のトラブルはない。地域の学校との連携を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係機関との連携は行っている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			年2回実施し、交流を楽しんでいる。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		協議会開催の案内がない。案内があれば、参加します。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者送迎のため、子どもの様子や発達の状況等について伝えるようにしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		コロナ禍のため、未実施
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			入園時の面接の時に、重要事項をもとに伝えられている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談については、随時受けられるような体制である。ここにおいて、適切に対応できるようにしている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情相談の窓口を設けている。苦情があった場合は、随時迅速に対応できるようにしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3ヶ月に1度、園だよりを作成し、配布している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			法人のプライバシーポリシーがある。子どもに携わる職員・専門職法士には誓約書をもらい、周知している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者送迎のため、一緒に考えたり、関わり方や言葉かけの話をしたりして察せられるようにしている。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○			地域の拠点となる事業所に月間行事計画を提供し、広報している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、職 員・保護者が周知でき るようにしている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○			年間計画のもと、訓 練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	○			毎年、事例を伴った 研修会を実施してい る。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説 明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に 記載しているか					
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか	○			入所時の面接のとき に、しっかりと把握し、 職員が周知している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	○			記録簿を作成し、職員 に回覧し周知している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。